



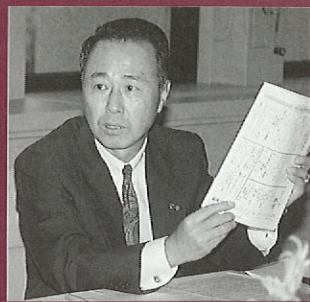
前原 和子氏

- ・山鹿市在住。
- ・山鹿市地域婦人会会長
- ・平成3年度、指定婦人学級の指定を受け、環境問題について取り組み中。



田代 クリスティーナ氏

- ・熊本市在住。
- ・熊本大学、熊本商科大学講師
- ・環境基本条例制定にあたって開催した「環境問題に関する在熊外国人との懇談会」メンバー。

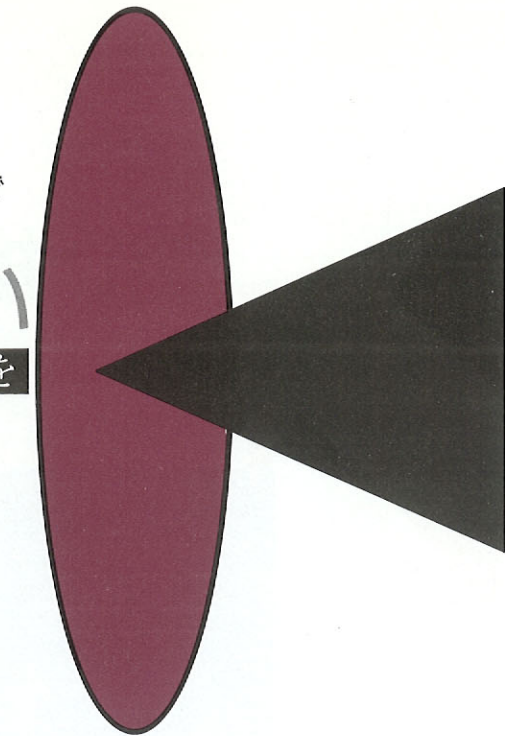


仲島 克之氏

- ・菊池郡西合志町在住。
- ・NTT九州支社総務部地域コミュニティ室室長
- ・社内設置の地域社会活動ワーキンググループのリーダーとして活動。

対談 魚住環境公害部長を囲んで

あす 未来に伝えたい 熊本から地球を守る一人ひとりの行動を 豊かな環境



清らかな水、豊かな緑を誇る私たちのふるさと熊本。今、この美しい環境が、少しずつ失われていることを認めないわけにはいきません。地球規模で問われている環境問題は、私たちの身の回りで、日々の何気ない行動によって引き起こされてきたのです。それを解決するのにもまた、一人ひとりの日々の行動からではないでしょうか。

私たちの美しい熊本、日本。そして地球を共有の資産として次の世代へ引き継ぐためにできること、しなければならないことは何か。魚住汎輝環境公害部長を囲んで話しあっていただきました。

―自己紹介をお願いします。

仲島 NTTの九州支社総務部に勤めております仲島と申します。私どもの会社では、地域環境を少しでも自分たちの力で良くできないかと、「地域社会活動ワーキンググループ」を作って、昨年からは活動しています。そのリーダーを私が務めております。

田代 田代クリスティーナです。出身はアルゼンチンのブエノスアイレスです。熊本に来て九年になりました。熊本の前はメキシコ。その前は大阪、東京。デンマークのコペンハーゲンとイタリアのローマに住んでました。現在、熊本と熊本商大でスペイン語を教えています。私が初めて日本に来た時に一番

部長 環境公害部長の魚住です。環境公害部は昨年の四月にできました。その前は単に公害部だったんですが、環境問題が世界的にも地域においてもクローズアップされるようになり、環境公害部へと改組されました。そして熊本県として環境問題に総合的・体系的に取り組もうと、まず、環境基本条例を昨年十月に策定。またゴミ問題では、廃棄物対策室を設置しました。家庭から出る一般ゴミ対策や、産業廃棄物関係の仕事をしています。当面している大きな問題の一つにゴミをどう処理していくかということがありまして、抜本的な対策が必要だということで、今

前原 山鹿市の連合婦人会の会長をしております前原です。今年、県婦連の指定学級で環境問題に取り組むことにしました。「地球にやさしい生活を実践しよう」ということで、身近なゴミ問題の減量とリサイクル活動をやっております。